

2 個別事業評価調書

団体名:与謝野町

事業名		消防防災施設等整備事業				
事業の概要		<p>火災時においては初期消火が最も重要であり、そのためには消防隊の力だけでは限界があり、地域住民の協力・連携が不可欠となる。消防防災施設を整備することで、地域での対応を迅速にできるようにし、また、消防隊到着時にはその能力を存分に発揮できる環境が実現するものである。</p> <p><内容> 防火水槽設置 2箇所 消火栓設置 13箇所 防火服購入 35着 防災行政無線更新 2箇所</p>				
	事業期間	平成18年度				
	総事業費	22,473	本年度事業費	22,473	交付金交付額	5,723
事業評価	事業の必要性	災害は突発的に発生し、甚大な被害をもたらす。これを未然に防止し、または被害を最小限に食い止めるためにも防災体制の強化は不可欠である。同時に、地域住民の防火・防災意識の向上を図ることで、安心安全のまちづくりに資するものである。				
	事業の有効性	防災対策は災害に対する日常の備えが重要であり、平時から危機管理体制の整備に努め、災害に強いまちを構築するため、防災施設の整備は急務である。				
	事業の効率性					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
		2 住民の自治意識を高める成果				
		<p>火災時においては初期消火が最も重要であり、そのためには消防隊の力だけでは限界があり、地域住民の協力・連携が不可欠となる。消防防災施設を整備することで、地域での対応を迅速にできるようにし、また、消防隊到着時にはその能力を存分に発揮できる環境が実現される。</p>				
		3 リーディング・モデル成果				
4 広域的波及成果						
<p>本事業では主に火災時の防災施設整備を実施し地域住民の防災意識向上を図っているが、これをきっかけに水害・風害・地震等の災害に見舞われた際の危機管理意識にも向上につながり、安心・安全なまちを目指す礎となる。</p>						
5 行財政改革に資する成果						
<p>地域の要望に基づき町全体の均衡を図りながら整備を進めることで、町全域の防災体制の強化を効率的に実現する。</p>						
6 その他の成果						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。